

富山県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会第4回会合及び研修会



連絡会で挨拶する星局長



座長の富山大学の山西教授

北陸総合通信局（局長 星 克明）は、平成28年2月9日（火）、富山県民共生センターにおいて、富山県青少年安心・安全ネット利用促進連絡会（座長 山西 潤一 富山大学人間発達科学部教授）の第4回会合を開催し、構成員等39名が出席しました。

冒頭、星局長が「昨年、情報通信月間の5月に、富山県民会館で「青少年安心・安全ネットづくりセミナー」を開催し、県・市の教育委員会をはじめ中学校、高校、警察署等から大勢の関係者が参加し、子供たちがネットと上手に付き合っていくためのノウハウを学び、有意義な取組となった。今年は、北陸新幹線が開業した富山駅において、「春のあんしんネットキャンペーン」を計画しており、ぜひ協力をお願いしたい。平成28年度も「春のあんしんネット・新学期一斉行動」、地域レベルのセミナーや講演会、e-ネットキャラバン等を本連絡会と密接に連携して取り組み、青少年のリテラシー向上に努めていきたい。」と挨拶しました。

連絡会では、山西座長の進行により、設置要綱の改正、平成27年度活動報告及び平成28年度活動計画が承認されました。また、総務省から青少年の安心・安全なネット利用に関する取組について説明したほか、構成員の取組では、富山県から春のあんしんネット・新学期一斉行動及び卒業・進学・新入学時期における非行・被害防止啓発チラシの配布について、富山県PTA連合会から第3回富山県PTA会員大会 第3分科会「ネットいじめから子供を守る」について、安心ネットづくり促進協議会から同協議会の普及啓発広報の取組について説明がありました。

さらに研修会では、構成員のほか学校、警察等の関係者を加えた62名が参加し、朝倉 孝之氏（株式会社ディー・エヌ・エー システム本部 カスタマーサービス部）が「インターネットやスマートフォンでのトラブル事例と回避策について」と題して講演しました。引き続き、山西座長の進行により意見交換が行われ、参加者からネットモラル・道徳について小学校高学年からではなく、低学年と保護者が講座で学べるよう要望があり、最後に、座長から「児童生徒と親一人一人がネットの危険性を認識することが必要であり、これからも関係者で情報共有しながら周知啓発に努力していきたい。」と締めくくりました。



連絡会の第4回会合



講演する講師の朝倉 孝之氏



多くの関係者が参加した研修会